



### ◎汐鳴祭文化の部が行われました

10月15日(金)本校の2大学校行事の一つである、汐鳴祭文化の部が行われました。一昨年までは、合唱コンクールとクラス展示をメインに、各教科や部活動の発表、吹奏楽部、体育科のダンスなどのステージ発表、PTAコーラスなど、1日開催の盛りだくさんのイベントでした。

今年度は残念ながら、合唱コンクールやステージ発表は中止とし、学級展示と部活動、教科展示、映像による吹奏楽演奏および、ダンスの動画発表となりました。

汐鳴祭文化の部のスローガンは「光輝燦然～モノクロの世界を君色に染め上げろ～」です。これは、今のコロナ禍で暗くなっている世界を、一人一人が持っている色を集めて、無限の色に染め上げ、光り輝く世界を取り戻そうというメッセージが込められたものであると思っています。

どのクラスも、生徒たちは一生懸命に学級展示に取り組み、素晴らしい作品を作り上げてくれました。海をテーマとして、おとぎ話や南国の海をモチーフにしたもの、未来をテーマとして、そこから連想される風景や都市を描いた作品、自然をテーマとして、森の様子や植物の様子、天気の違いで人の心情を表したものなど、創意工夫が凝らされた作品ばかりです。

コロナ禍のもとでの開催ということで日程も平日の午後日程となり、保護者や地域の方の参観もご遠慮願う形となり、とても残念に思っています。

限られた時間と場所ではありますが、生徒のみんなが楽しく有意義な時間を過ごし、クラスの絆を深め少しでも良い思い出となることを願っています。(二宮中学校ホームページに全クラスの作品を載せています)

### 汐鳴祭文化の部



## ◎緊急事態宣言が明けて日常が少しずつ戻ってきました

10月に入り、長かった緊急事態宣言がようやく解除されました。全国や神奈川県、二宮町内のコロナウイルス感染者の数も減少し、学校も感染リスクの低い活動から順次始めています。昨年度のことを考えると、このまま収束するとは思われませんが、12歳以上のワクチン接種も順次始まっていることから、学校の教育活動も徐々に正常な形に戻して行く方向で考えています。

現在、総合的な学習の時間への取り組みも本格的に始まりました。2年生は11月に鎌倉校外学習を予定しています。コロナ禍で実施が危ぶまれていましたが、感染状況がこのまま落ち着いていれば実施できると考え、現在鎌倉について下調べを行うとともに、当日のルートを作成しています。日常の学校生活では味わうことのできない体験で、友達の良いところや、鎌倉の素晴らしさを発見して欲しいと思います。

1年生はキャリア教育の一環として、職業インタビューの準備に入っています。これは職業に就く意味や意義、苦勞や楽しさなどを実際に職業についている方々からお話を伺い、将来の望ましい職業観や勤労観を育てていこうとするものです。職業が多様化し、AIの発達により既存の職業のかなりの部分が置き換わるとも言われています。そのような時代だからこそ、職業の意味を深く考え、自分の将来の仕事を真剣に考えることは大変重要な学習ではないでしょうか。

## ◎未来の二宮町を考える～二宮町中学生ワークショップが開かれました

10月6日（水）の放課後、本校の生徒会本部のメンバーと同じく二宮西中学校の生徒会のメンバーが、オンラインにて町役場とつながり、「10年後の二宮を考える 中学生ワークショップ」に参加しました。これは、町役場の企画政策課による、「二宮町総合計画」の策定に伴い、未来を担う町の中学生から、まちづくりに関する意見を募り、村田町長と直接話し合いをしようとして企画されたものです。

生徒会本部役員の生徒たちは、事前に町役場の企画政策課の方と打ち合わせを行い、「二宮町の田舎度・都会度」を考えたり、「二宮町の魅力」「町の将来イメージとまちづくりに向けた役割」「大人になっても住み続けるために必要な施設や公共空間」などの項目について話し合いを進めました。

この話し合いを行う前段階として、3年生は1学期に社会科でまちづくりについて学び、その際にアンケートを実施し、そのアンケートが今回の話し合いの重要な資料として使われました。

放課後、校長室に集合した本部役員のメンバーは最初は緊張の面持ちでしたが、徐々に打ち解け真剣に話し合いを行っていました。自分の意見を発表するときは、フリップに自分の意見をまとめたものを提示し、わかりやすく伝える工夫もしていました。

1時間半に及ぶ中学生と町長の話し合いでしたが、生徒たちの表情からも大変有意義な時間であったことが伺われました。未来を担う中学生たちが、将来の町づくりに夢を持つことはとても素晴らしいことだと思います。これからも同様の機会をさらに広げ、より素晴らしい二宮町にしてほしいと願います。

生徒会本部  
役員です

